

資料1 いざというときのための防災と医療

A) 119番にかけ、電話がつながったときからの平均所要時間

覚知からの時間経過(H27) 木更津市消防本部調べ



B) 病院交渉内訳 H27年

木更津市消防本部調べ

	人数	件数	%
傷病者搬送件数	6172人	6036件	
1回の病院交渉で受入可能件数		4271件	70.8%
2回以上の病院交渉で受入可能件数		1765件	29.2%

※一事案で同じ病院に複数回連絡した場合も連絡回数に含む

※君津中央病院は3次救急医療機関のため、重篤傷病者の収容を主としているが、傷病者や家族等からの依頼など、重篤傷病者以外の収容もある。

C) 受入不能回答回数(2回以上の病院交渉件数の内訳 H27) 木更津市消防本部調べ

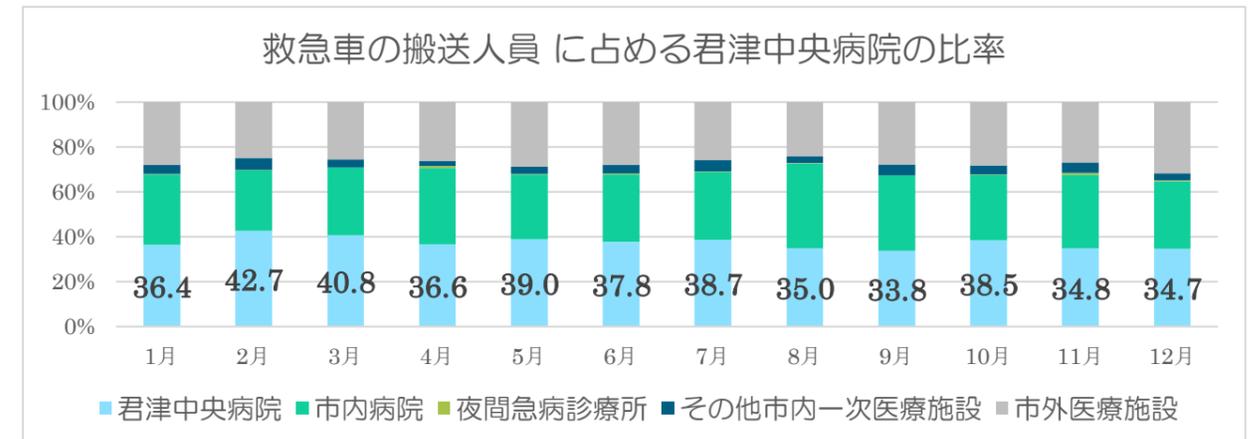
全医療機関の受入不能回答回数	4139回
そのうち、君津中央病院の受入不能回答回数	1061回
君津中央病院に2回以上連絡し収容可能回答回数	194回
君津中央病院の最終的な受け入れ不納回答回数	867回

D) H27年の救急車の市内搬送病院別搬送人員(人数)

木更津市消防本部調べ

君津中央病院	2305	木更津病院	63
萩原病院	1146	重城病院	96
木更津東邦病院	170	森田医院	125
上総記念病院	164	夜間急病診療所	21
石井病院	72	その他市内一次医療施設	240
薬丸病院	92	市外医療施設	1678
		合計	6172

E) 木更津市の救急車の搬送人員に占める君津中央病院の比率



F) 木更津市の救急業務 救急出動件数 H22年とH26年を比較

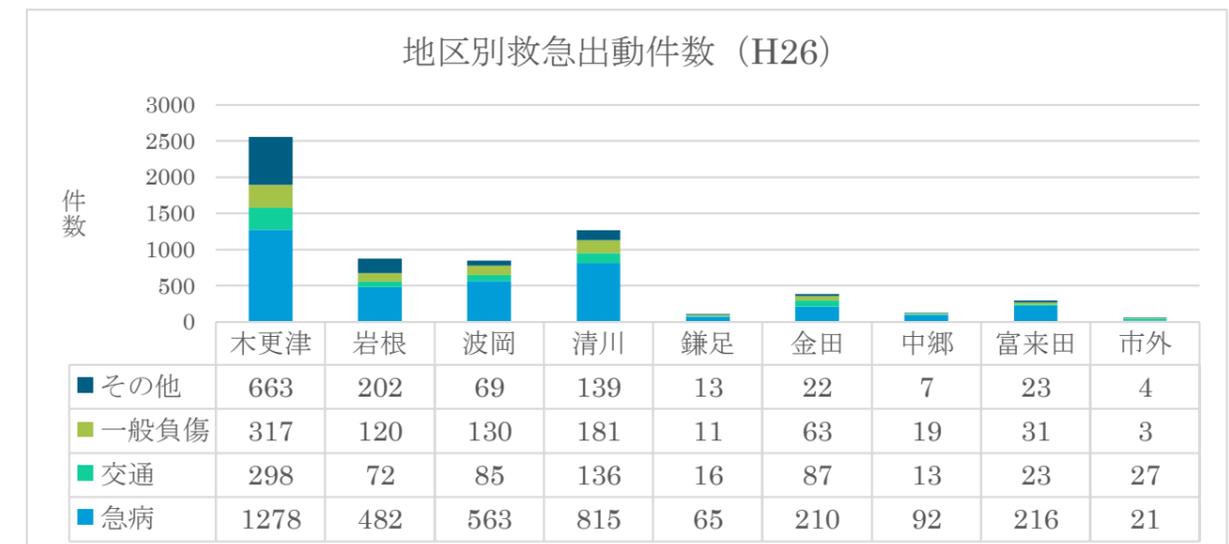
特に増えた部分

市政の概要より

	出動件数	搬送件数	搬送人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H22①	5495	5050	5207	31		6	676	25	27	637	50	80	3156	807
H26②	6516	5864	5997	33	0	2	757	41	41	875	49	116	3742	860
②-①	1021	814	790	2	0	-4	81	16	14	238	-1	36	586	53

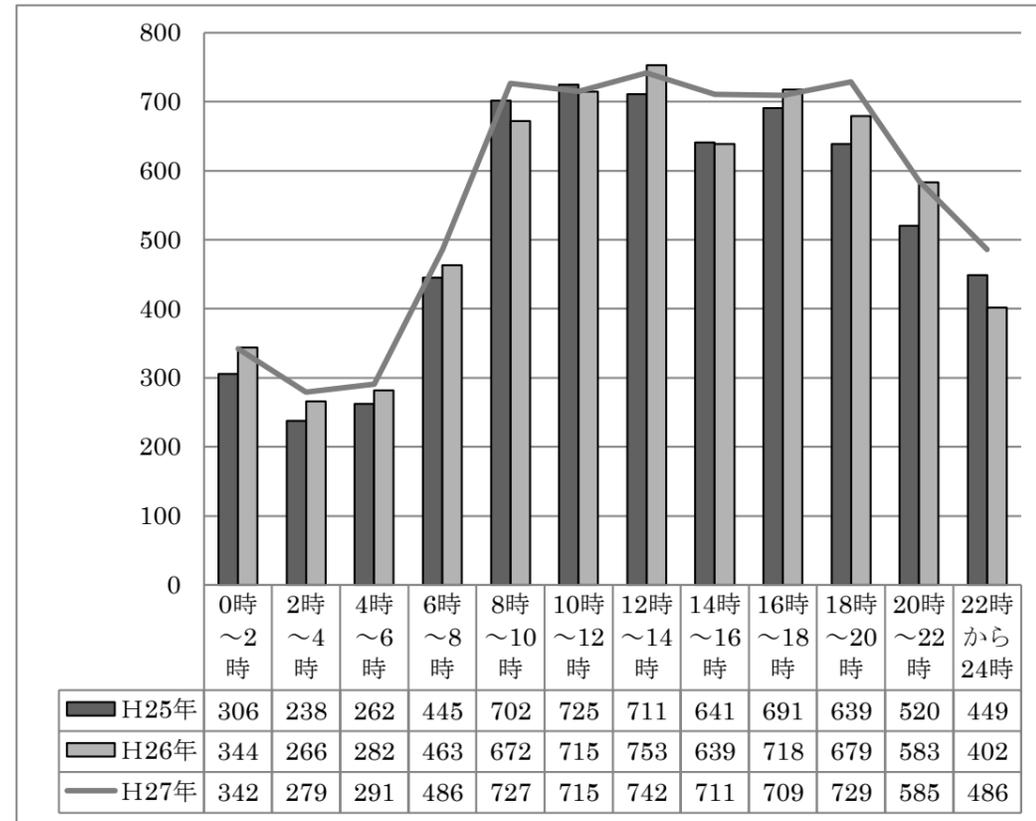
G) 木更津市の救急業務 救急出動件数 地区別で調べると

木更津市消防本部調べ データ H26年



H) ここ三年間の救急車の出動を時間別にみると

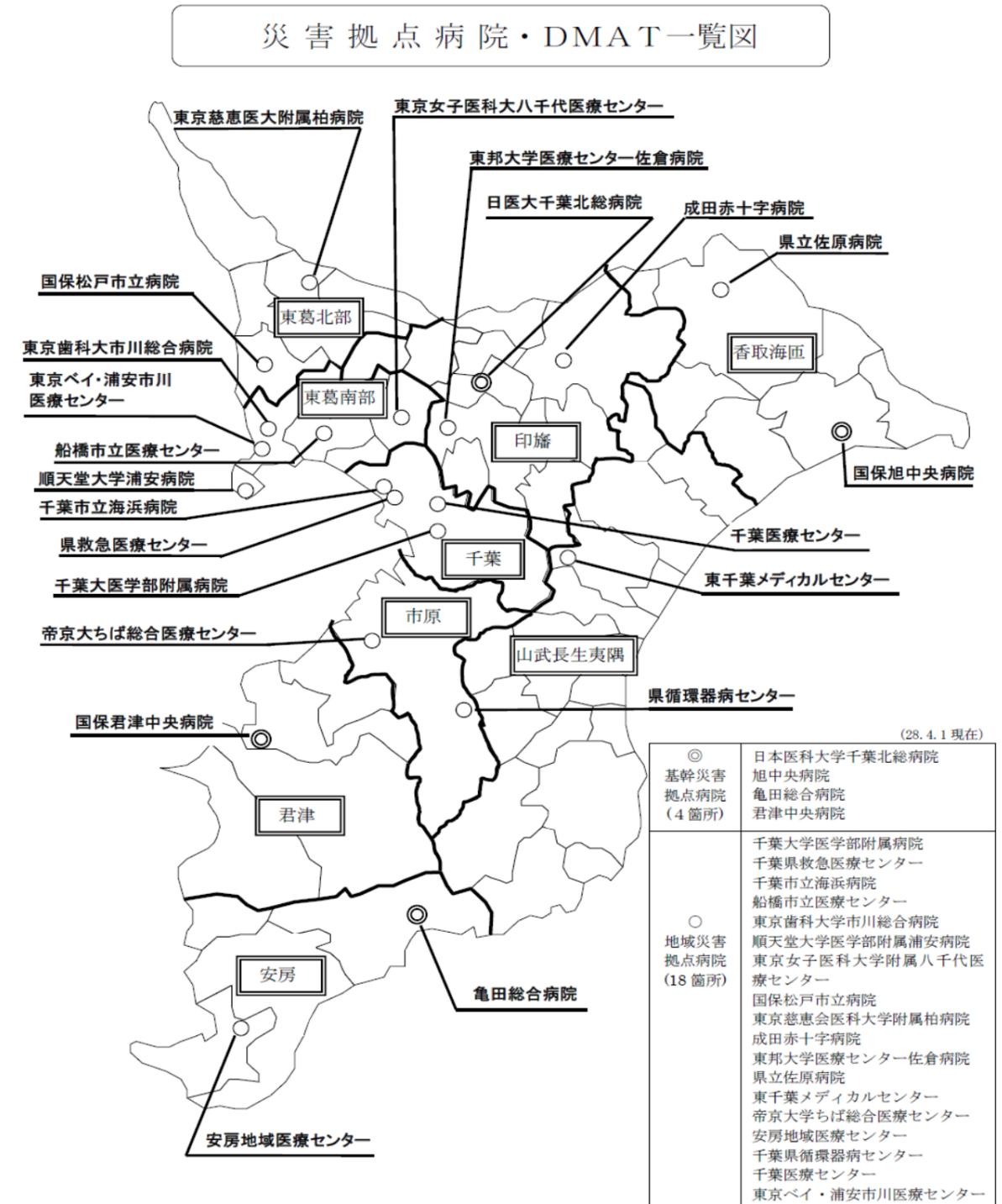
木更津市消防本部調べ



I) 君津中央病院の役割

三次救急医療機関	二次救急体制では対応できない重症および複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者（頭部損傷、心筋梗塞、脳卒中など）を24時間体制で受け入れる体制と高度な診療機能をもつ医療機関
基幹災害拠点病院	基幹災害拠点病院は都道府県ごとに1か所整備 地域災害拠点病院は、原則として二次医療圏、つまり君津近隣4市で1か所整備が望ましい
地域医療支援病院	救急医療や「かかりつけ医」から紹介された特殊な治療が必要な患者の診断・治療を行い、病状が安定したら「かかりつけ医」での診療を継続できるように対応する病院

J) 千葉県内の災害拠点病院



K) 地域医療支援病院の承認条件

他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供しうる体制が整備されていること。

旧基準	原則として紹介率が80%以上であること 紹介率が60%以上、かつ、逆紹介率が30%以上であること 紹介率が40%以上、かつ、逆紹介率が60%以上であること
新基準 H26.4.1～	原則として紹介率が80%以上であること 紹介率が65%以上、かつ、逆紹介率が40%以上であること 紹介率が50%以上、かつ、逆紹介率が70%以上であること

- (2) 病院の建物等を当該病院に勤務しない医師等の診療等に利用させるための体制が整備されていること。
- (3) 救急医療を提供する能力を有すること。
- (4) 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有すること。
- (5) 原則として200床以上の入院施設を有すること。など

L) 千葉県内の地域医療支援病院の紹介率と逆紹介率(H26年度)

地域医療支援病院業務報告書より抜粋

	紹介率%	逆紹介率%
亀田病院	70.2	135.9
ちばこども病院	92.4	47.0
成田赤十字病院	70.0	56.3
労災病院	78.7	81.6
国立病院千葉医療センター	78.7	55.2
船橋市立医療センター	56.4	94.4
県立佐原病院	39.4	39.5
君津中央病院	63.5	53.1
松戸市立病院	58.2	104.2
習志野病院	63.7	81.3
海浜病院	92.4	47.0
八千代医療センター	72.4	55.2

M) 支援を必要とする可能性の高い高齢者や障害者の人数

身体障害者手帳所持者

H27.3.31現在 単位 人

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
視覚	102	56	17	16	30	15	236
聴覚・平衡感覚	28	75	42	69	14	115	343
音声・言語機能	4	13	32	23	0	0	72
肢体不自由	530	441	377	686	191	111	2336
内部障がい	869	14	192	322	0	0	1397
計	1533	599	660	1116	235	241	4384

知的障害者療育手帳所持者

精神障害者健康福祉手帳所持者

	18歳未満	18歳以上
軽度	115	173
中度	59	183
重度	46	264
計	220	620

1級	81
2級	407
3級	154
計	642

要介護者等のH28年度の推計人数 第6期介護保険事業計画より抜粋

介護保険	第二号保険者	第一号保険者
	40～64歳	65歳～
要支援1	7	608
要支援2	20	685
要介護1	31	973
要介護2	36	1010
要介護3	31	809
要介護4	29	739
要介護5	20	575
計	174	5399